



畜産排水処理施設



【 社会的な課題 】

畜産排水の高度処理施設運用が要望される中で、再生水利用による水資源の有効利用が求められる状況となっている。

【 取組み内容 】

近年、各種排水処理水の再利用（3R）が提唱されており、水資源の有効利用が重要な要素になりつつある中で、最終工程に残存する着色、臭気、一般生菌などを除去する必要があるため、オゾンUFBシステムでの対策を考慮した。

【 ファインバブルの作用・原理 】

オゾンUFBによる効率的な脱色と脱臭並びに一般生菌の抑制は、オゾンの溶解性及び反応性の良さがポイントである。これによりオゾン使用量や設備コストを低く抑えることができる。

【 使用機器 】

UFB発生装置はキャビテーション方式（非加圧）を選定している。フォームジェットシステム構成は、PSAオゾナイザー、UFB発生装置、制御機器などである。

【 各種効果 】

- 年間使用水量 約5500m<sup>3</sup>/年の再生利用
- CO<sub>2</sub>排出削減量 約16.5t/年